



TDK オーケストラコンサート2018

ロンドン交響楽団

指揮：サー・サイモン・ラトル
London Symphony Orchestra
Sir Simon Rattle, Music Director

2018年 **9/24** (月・祝) 18:00
サントリーホール

Monday, September 24, 2018 at 6 p.m. Suntory Hall

バーンスタイン：交響曲第2番「不安の時代」
Bernstein: Symphony No. 2 "The Age of Anxiety"

ピアノ：クリスチャン・ツィメルマン
Krystian Zimerman, Piano

ドヴォルザーク：スラヴ舞曲集 op. 72

Dvořák: Slavonic Dances op. 72

ヤナーチェク：シンフォニエッタ
Janáček: Sinfonietta

2018年 **9/25** (火) 19:00
サントリーホール

Tuesday, September 25, 2018 at 7 p.m. Suntory Hall

H.グライム：織り成された空間 (日本初演)

Helen Grime: Woven Space (Japan Premiere)

*Commissioned for Sir Simon Rattle and
the London Symphony Orchestra by the Barbican Centre

マーラー：交響曲第9番 二長調

Mahler: Symphony No. 9 in D major

2018年 **9/29** (土) 14:00
サントリーホール

Saturday, September 29, 2018 at 2 p.m. Suntory Hall

ラヴェル：バレエ「マ・メール・ロワ」

Ravel: Ma mère l'Oye

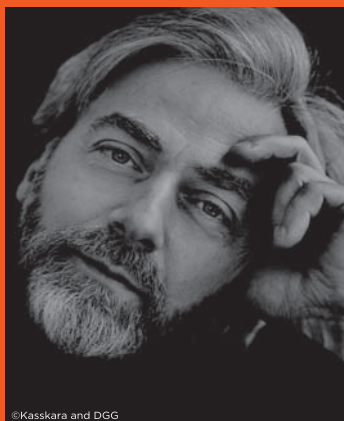
シマノフスキ：ヴァイオリン協奏曲第1番 op. 35

Szymanowski: Violin Concerto No. 1 op. 35

ヴァイオリン：ジャニーヌ・ヤンセン
Janine Jansen, Violin

シベリウス：交響曲第5番 変ホ長調 op. 82

Sibelius: Symphony No. 5 in E-flat major



©Kassara and DGG



©Oliver Helbig



©Harald Hoffmann/Decca

S¥32,000 A¥27,000 B¥22,000 C¥15,000 D¥9,000 プラチナ券¥37,000



特別協賛：TDK株式会社 主催：KAJIMOTO / フジテレビジョン 後援：プリティッシュ・カウンシル 協力：株式会社ワーナーミュージック / ユニバーサル ミュージック合同会社



LSO Flight Support: ANA

母国最高のオーケストラへ凱旋！世界のラトルの新時代

オーケストラと音楽監督が最初から円熟の域に達することはめったにないが、サー・サイモン・ラトルとロンドン交響楽団(LSO)はそうした稀有な例と言ってよいだろう。通常は1~2シーズンかけてお互いに触発し合いながら関係を深めていくわけだが、ラトルとLSOは昨年9月の就任公演からすでにコンビとしてのアイデンティティを明確に打ち出し、満を持しての始動となった。

ロンドンのオーケストラ・ファンたちもこの新コンビに大いに期待している。意外かもしれないが、ラトルはこれまで母国ではリヴァプール・フィルやパーミンガム市響など地方のポストのみだったので、彼にとって今回は初のロンドンの楽団の常任ポストであり、首都の聴衆にとっても彼を地元で定期的に聴けるのは初めてなのだ。初年度は、オール・ブリティッシュ・プログラムによる就任公演に続き、《ファウストの劫罰》、ストラヴィンスキー三大バレエ音楽、マーラーの交響曲第9、10番、バーンスタイン生誕100周年企画の《不安の時代》、《ワンダフル・タウン》など色彩に満ちた大作ばかりで、LSOから完成度の高い、躍動感たっぷりの演奏を引き出してきた。

さて、秋のシーズン早々の日本ツアーでは、このうちK.ツィメルマン独奏による《不安の時代》とマーラーの交響曲第9番、さらに本拠地での新シーズンでも取り上げるヤナーチェク《シンフォニエッタ》、シベリウスの交響曲第5番など、ラトルの手腕がもっとも光るレパートリーが組まれており、いずれのプログラムも魅力に富んでいる。世界のラトルが母国の名門と築く新時代をいち早く体験してほしい。

後藤 菜穂子(音楽学/ロンドン在住)

London Symphony Orchestra

ロンドン交響楽団

1904年創設。「多くの人々に素晴らしい音楽を届けたい」という起業家精神のもと楽団員により運営される、英国最高にして世界屈指のオーケストラ。伝統的サウンドをもち、当代一級の演奏家たちと名演を繰り広げている。2017年からラトルが音楽監督を務め、彼はLSOを指揮することを「ピンを少し触るだけで作動する高性能のスポーツカーを運転しているよう」と語る。パーピカンセンターのレジデントであり、年間70回に及ぶコンサートをを行い、世界の音楽都市も定期的に訪れる。教育に深く関わり、メディアでも最先端をいき、自主レーベルの「LSOライヴ」は大成功。「スターウォーズ」などの映画音楽でも有名である。

Sir Simon Rattle, Music Director

音楽監督: サー・サイモン・ラトル

リヴァプール生まれ。英国王立音楽院で学ぶ。1980~98年にパーミンガム市響を率いたあと、2002~2018年にはベルリン・フィルの芸術監督として活躍、昨年9月よりロンドン響音楽監督を務める。現在に至るまで一貫してクリエイティブな活動を続け、ベルリン・フィルとは世界中でツアーを行ったほか、高い評価を得た多くの録音、また教育プログラムを創設するなど新しい分野も開拓し、多くの名誉ある賞を受賞。ウィーン・フィル、ボストン響、フィラデルフィア管をはじめ、世界各地の主要オケと長年にわたり強い信頼関係を築き、オペラの分野でも注目すべき成果を残している。

Krystian Zimerman, Piano

ピアノ: クリスティアン・ツィメルマン

ポーランド生まれ。1975年にショパン国際コンクールで史上最年少優勝。バーンスタイン、カラヤン、ブレーズ、小澤征爾らの指揮のもと、超一流のオーケストラと共演する現代最高のピアニストの一人。世界の主要都市でリサイタルを行い、録音はドイツ・グラモフォンと専属契約を結び、数多くの権威ある賞を受賞している。2018年のバーンスタイン生誕100周年に、17年12月より今年にかけて、彼の交響曲第2番「不安の時代」をラトル指揮ロンドン響、ベルリン・フィルなどと、世界各地で演奏している。

Janine Jansen, Violin

ヴァイオリン: ジャニーヌ・ヤンセン

メータ、ネゼ=セガン、P.ヤルヴィらの指揮のもと、ベルリン・フィル、ボストン響、チェコ・フィルなどと共演する国際的な名声に恵まれたヴァイオリニスト。今シーズンはガッティ指揮コンサートへボウ管や、M.T.トーマス指揮ロンドン響と共演する。デッカ・レーベルと専属契約を結び、多くの録音は数々の賞を受賞。最近ではパッパノ指揮によるバルトークやブラームスのヴァイオリン協奏曲のCDをリリースした。使用楽器は、デクストラ・ムジカ財団より貸与されているストラディヴァリウスの1707年製「Rivaz-Baron Gutmann」。

チケットのお申込み

カジモト・イープラス www.kajimotoeplus.com

カジモト・イープラス 0570-06-9960

※オペレーター対応(10:00~18:00)
ホームページからお申込みいただけます(パソコンもケータイも同じアドレス)。

◆フジテレビダイレクト

<http://fujitvdirect.jp/> (パソコン・携帯)

0570で始まるナビダイヤル番号は、PHS、IP電話など一部の回線からは接続されない場合がございます。NTT加入電話、公衆電話などをご利用願います。

チケットぴあ 0570-02-9999 (Pコード: 110-850)

e+ (イープラス) <http://eplus.jp/>

CNプレイガイド 0570-08-9990

ローソンチケット 0570-000-407

サントリーホールチケットセンター 0570-55-0017

Twitter @kajimoto_News

Facebook

YouTube

“kajimotomusic” で検索!

@kajimotomusic

便利なケータイサイトもぜひご利用ください。

iモード・EZweb・Yahoo!ケータイ 対応

チケットもご購入いただけます。

カジモト・イープラス



一般発売:
4/22(日) 10:00~

カジモト・イープラス会員限定先行受付: 4/14(土) 12:00~4/17(火) 18:00 先行受付専用番号 TEL: 0570-06-9969 [10:00~18:00(初日のみ12:00より受付)]

●やむを得ぬ事情により内容に変更が生じる場合がございますが、曲目変更などのために払い戻しはいたしませんのであらかじめご了承願います。

●未就学児のご入場はご遠慮いただいております。●団体料金の設定のある公演もございます。詳しくはお問合せください。

KAJIMOTO 〒104-0061 東京都中央区銀座6-4-1 東海堂銀座ビル5階 TEL: 03-3574-0550 <http://www.kajimotomusic.com/>

テクノロジーでなにしよう。

新しいテクノロジーが生まれる。変化の予感に満たされる。次に実現されることはなんだろう。今度はどんな不可能が可能になるだろう。いつだって、この世界を書き換えてきたのは、テクノロジーだ。テクノロジーは、私たちの毎日を、そして私たちの未来を、変えることができる。考えよう。言葉にしよう。実行しよう。さあ、テクノロジーでなにしよう。

Attracting Tomorrow TDK